

市町村名	八重瀬町						
平成 2 7 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-12		富盛石彫大獅子（勢理城）周辺整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	生涯学習文化課		事業実施（予定）年度	平成24～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	沖縄県指定有形民俗文化財で県の村落獅子として最大で最古である富盛の石彫大獅子が鎮座する勢理城（ジリグスク）の観光に対し、安全で利便性を高める目的で、富盛の石彫大獅子及び石獅子の立地する勢理城公園の整備工事を行う。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	24年度繰越	26年度	27年度	27年度繰越
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	4,601	4,051	2,700	19,793	—
		(b) 予算現額	4,451	4,051	2,700	22,166	—
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 150	0	0	2,373	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	14,952
		A. 計 (b+d)	4,451	4,051	2,700	22,166	14,952
	B. 執行済額		400	3,916	2,592	7,214	14,191
	うち交付金充当額		320	3,133	2,073	5,771	11,352
	次年度繰越額		4,201	0	0	14,952	0
	執行率（％）(B/A)		9.0%	96.7%	96.0%	32.5%	94.9%
予算の状況の説明		駐車場整備を行う際、急斜面のため擁壁を設置するにあたり地盤調査（平板載荷試験）を行った結果、擁壁を設置するための所定の支持力が得られなかった。そのため土の置き換えを行う必要が生じ、不測の日数を要したことから、工期内の完了が困難となり繰越を行なった。					
活動目標（指標）及び達成状況	H27活動目標（指標）		達成状況				
				27年度	28年度	29年度	30年度
	周辺整備工事の実施	目 標	（ 周辺整備工事の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	周辺整備工事の実施				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	周辺整備工事を実施した						
成果目標（指標）及び進捗状況	H27成果目標（指標）		基準値（年度）	27年度	28年度	29年度	目標値（年度）
	周辺整備工事完了	目 標	（ ）	（ 周辺整備工事完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		周辺整備工事完了			
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	周辺整備工事を完了した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 勢理城内の擬木が壊れているため、転落等の危険があった。 近隣に駐車場が無いため、路上駐車などがあった。 駐車場整備を行う際、急斜面のため擁壁を設置するにあたり地盤調査(平地 載荷試験)を行った結果、擁壁を設置するための所定の支持力が得られな かった。そのため土の置き換えを行う必要が生じ、不測の日数を要したこ から、工期内の完了が困難となった。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 転落防止柵を設置を行なうことにより、安全になった。また、駐車場整備によ り、農道への路上駐車がなくなった。 地盤調査については、土を置き換えることにより所定の支持力が得られ、擁 壁を設置することができた。
	今後の取り組み方針 字富盛(地域)においても祈願を行なう大切な聖地なので、字富盛と話し合いながら観光としての活用を検討していく。その際には、当該場所は分かりづらいた め、分かりやすく誘導する施策をたてる必要がある。	

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象 事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>21,405</td><td>21,405</td><td>17,123</td><td>4,282</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	21,405	21,405	17,123	4,282	0
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
21,405	21,405	17,123	4,282	0										
八重瀬町 21,405千円 委託料 1,965千円 ㈱大協測量設計 1,965千円 〔 富盛石彫大獅子周辺整備管理業務 〕 工事請負費 19,440千円 (有)富盛建設 19,440千円 〔 富盛石彫大獅子周辺整備工事 〕														
資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出の選定先は、委託契約、工事請負契約ともに指名競争入札により実施しているので妥当であったと考えている。 ○委託・工事共に積算基準等に基づき積算を行っており事業内容に見合った適正規模であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目及び使途の事業目的については、予算執行伺及び完了検査等において確認しており、適正であったと考えている。											

市町村名	八重瀬町						
平成27年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-④	八重瀬町「農と緑」地域活性化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)	
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成26~28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	八重瀬町「農と緑」地域活性化推進事業 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	亜熱帯に適する花、観葉植物、果樹等の苗を種苗ハウス内で育成し、公共施設や住民に配布し、農業の普及・担い手育成を図る。また、地域農業の活性化に体験農場や農業塾・教室を開き農業体験を通じて農業後継者や新規就農者の育成を図る。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	27年度(繰越)	28年度	29年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	6,300	59,438	—		
		(b)予算現額	6,300	59,438	—		
		(c)増減額(b-a)	0	0	0		
		(d)繰越額	—	—	42,227		
		A. 計(b+d)	6,300	59,438	42,227		
	B. 執行済額		5,940	16,223	42,173		
	うち交付金充当額		4,752	12,978	33,738		
	次年度繰越額		0	42,227	0		
	執行率(%) (B/A)		94.3%	27.3%	99.9%		
予算の状況の説明		買収を予定していた用地において、地主の相続問題により用地の取得が遅延したため、年度内での事業完了が困難となり、42,227千円を繰り越した。不用額54千円については、入札残等によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
	用地購入(2年:6,591㎡)		27年度	28年度	29年度	30年度	
		目 標	(用地購入 2年:6,591㎡)	()	()	()	
		実 績	(用地購入 2年:6,591㎡)				
		達成率					
	造成工事	目 標	(造成工事)	()	()	()	
実 績		造成工事					
達成状況説明	用地購入2筆:6,591㎡を購入・造成工事						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	・用地購入取得率:100%	目 標	()	(取得率100%)	()	()	()
		実 績		取得率100%			
	・造成工事竣工	目 標	()	(造成工事竣工)	()	()	()
		実 績		造成工事竣工			
	進捗状況説明	用地買収予定箇所全筆購入登記完了済・造成工事完了					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今後、指定管理委託により運営する予定であるが、本施設の利活用を図るため施設の周知活動が必要である。	本事業の目的を達するため、町役場広報誌、ホームページ等開設し周知を図る
今後の取り組み方針		
平成28年度事業により施設の整備を完了し、事業目的を図るため体験プログラム等の充実を図る。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
58,396	58,396	46,716	11,680	0

八重瀬町
58,396千円

需用費 29千円			収入印紙代
役務費 129千円	→	株式会社 沖縄不動産総合鑑定所 129千円	「農と緑」地域活性化推進事業不動産鑑定評価委託業務
公有財産購入費 45,875千円	→	個人(2名) 45,875千円	「農と緑」地域活性化推進事業に必要な土地の購入
工事請負費 12,363千円	→	(有)丸和 12,363千円	「農と緑」施設用地造成工事

資金の流 れ、費目・ 点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の流 れ、費目・ 点検評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の1%以内であり、適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものについては額の確定時に検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
平成２７年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	12-①	浮魚礁設置補助事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-エ	
担当部署名	農林水産課	事業実施（予定）年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の担い手の育成・確保及び経営安定化対策等の強化		
事業内容	新たに中層浮魚礁を設置することによって、マグロ、カツオ等の水揚げ量も増え漁業者、遊漁船の経営の安定化を図るため中層浮魚礁を設置する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			27年度	27年度（繰越）	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	21,968	—			
		(b) 予算現額	21,968	—			
		(c) 増減額（b-a）		0			
		(d) 繰越額	—	3,986			
		A. 計（b+d）	21,968	3,986			
	B. 執行済額		17,982	3,240			
	うち交付金充当額		14,385	2,592			
	次年度繰越額		3,986	0			
	執行率（％）（B/A）		81.9%	81.3%			
予算の状況の説明		中層浮魚礁の設置に必要な起重機船が工事等で出動しており確保が厳しく年度内の完了が困難になり、平成28年度に3,986千円を繰り越した。入札により、不用額が発生し執行率が落ちた。					
活動目標（指標）及び達成状況	H27活動目標（指標）		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	中層浮魚礁設置 1基	目 標	（ 1基 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	1基				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	平成27年度に、中層浮魚礁を製作し、1基設置した。設置については、浮魚礁の海上での設置に必要な起重機船が確保できず繰越をし平成28年度に完了した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H27成果目標（指標）		基準値（年度）	27年度	28年度	29年度	目標値（年度）
	既存の表層浮魚礁は、台風等で流失の確立が高く漁獲に支障をきたす為、流失の確立が低い中層浮魚礁を設置して漁業、遊漁等の安定した操業を目指す。	目 標	（ ）	（ 安定操業 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		安定操業			
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	中層浮魚礁が設置完了し、供用が開始された。中層浮魚礁に魚が居つき水揚げ量も徐々に増え、漁業収入も増えると思われ安定した経営が期待される。今後の漁業、遊漁等の安定した操業が図られる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	中層浮魚礁の製作は完了したが設置については、バージ船の調整に不測の日数を要し、28年度に繰越して事業を実施した。 中層浮魚礁の完成により、今後この浮魚礁の活用し、水産業振興、経営安定化に力を入れる必要がある。	当初計画より工期が送れてしまったが、事業も完了したので中層浮魚礁の漁獲量等を検証し、これまで以上に水産業振興、担い手の育成を行いたい。 今後は水揚げ量の増大に期待できる。中層浮魚礁は台風等での流失の確立が低く、天候の影響を受けにくい為漁業、遊業等の水産業振興、漁業者の経営安定の促進に力を入れる。
今後の取り組み方針		
平成27年度に整備した中層浮魚礁に魚も着きはじめ漁獲量も揚り始め、今後の浮魚礁の増設及び水産業振興、遊漁船等の観光振興について取込んでいく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>23,580</td><td>21,222</td><td>16,977</td><td>4,245</td><td>2,358</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	23,580	21,222	16,977	4,245	2,358
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
23,580	21,222	16,977	4,245	2,358										
八重瀬町 21,222千円 → 補助金 21,222千円 → 港川漁業協同組合 21,222千円 → 中層浮魚礁製作・設置 1基 対象外経費 2,358千円														
資金の流 れ、費 用・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助先は、組織構成、知識、経験等を勘案し選定したので妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算は、事業内容に対して適正額であり事業内容どおり執行した。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者にも一部費用(1割)を負担してもらっており、妥当である。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要であったと判断した。											